

(様式3)

事業所名 グループホーム川田の宿

ユニット名 椿棟

作成日: 令和 4年 10月 20日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	7	○虐待の防止の徹底 常に情報を共有し、虐待が見逃される事のないよう努めているが、心に余裕がない時にネグレクトや強い口調、不適切な言動を取ってしまう。	職員は忙しい時でも平常心を保ち、常に入居者の声に耳を傾けることができる。	○多忙な時も一度立ち止まり、入居者の問い掛けに応じる。 ○同じ事の繰り返しでも今、出来ない事は丁寧に理由を説明する。 ○決して無視はしない。言葉遣い、声の大きさ等についてケア会議で話し合う。	6ヶ月
2	47	○服薬支援 内服チェック表を使用して誤薬がないように注意している。薬の目的や副作用について理解を深めたい。	職員は薬についての理解を深め、ひとりひとりの薬について、ある程度把握することが出来、内服薬の必要性について話し合う事ができる。	○カンファレンスの際、入居者ひとりひとりが抱えている病気と内服している薬について学習し、理解を深めていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月